

## 食品の安全性確保と表示等消費者対応問題について

～百貨店と食品業界との懇談会開催と両業界によるコラボレーション事業の実施計画～

平成 14 年 7 月 12 日  
日本百貨店協会

### 1. これまでの経緯

関東百貨店協会 4 月度役員会において、根津公一東武百貨店社長（関東協会副会長）より、「百貨店における食品の安全性確保と表示問題等の消費者対応について、百貨店業界としての考え方を明確にし、早急に具体的な対応策を打ち出す必要がある」との提案がなされた。

これを受けて、主要百貨店の食品担当役員、部長による準備会合を開催し、第一段階として、東京地区百貨店食品担当責任者と食品業界のトップによる経営レベルでの懇談会を開催し、活動の方向付けを行うこととした。

これに関し、6 月 14 日開催の日本百貨店協会常任理事会において根津社長より懇談会の実施計画について説明し、当面は東京地区百貨店で検討するものの、「食の安全」問題は、全国の百貨店で対応すべき課題であるので、ここで合意された活動については日本百貨店協会事業として実施することとなった。

### 2. 百貨店と食品業界との懇談会の概要

上記の経緯を踏まえ、6 月 25 日（火）、日本百貨店協会会議室において、食品業界の代表企業 7 社のトップと、東京地区百貨店 13 社の食品担当責任者による懇談会を開催、「百貨店における食品の信頼性確保と表示問題等消費者対応のあり方」について、問題意識の共有化と、両業界が共同して取り組むでコラボレーション事業について協議を行った。（出席者別紙）

マスコミも新聞以外に、テレビ局 5 局（NHK、フジテレビ、日本テレビ、TBS、テレビ東京）の取材があった。

懇談会では、最近のマスコミの論調、消費者意識の変化、食品行政の動向等を考慮しながら、百貨店をとりまく食品の安全衛生、表示適正化問題について率直な意見交換が行われ、「百貨店の食品の信頼性確保」には、両業界が危機意識を共有して対応することが不可欠であるという認識のもとに、共同で取り組むべき事業について早急に具体化することとなった。

### 3. 事業具体化のポイント

具体化に当たっては、「信用、信頼、安心」という百貨店の業態特性を踏まえ、また「接客販売」という人的対応力(口頭による商品説明)を有効に活用することを前提に、特に

- (1) コンプライアンス(法律遵守)なき企業は崩壊するという自覚に基づくリーガルチェック体制の整備・強化
- (2) 商品の素性を明示できるトレイサビリティ(産地、生産者、流通経路に関する追跡可能性)等による情報開示と安全性担保の仕組みづくり
- (3) 現場の危機意識を高めるリスクマネジメント(危機管理、特に危機発生予防)の強化

の観点から、両業界で、社員(取引先も含む)の「意識欠如」「商品知識不足」を一掃するための施策を講じることとする。

### 4. 両業界によるコラボレーション施策

上記の具体化のポイントを前提に、食品の安全性確保と表示適正化に向けて、百貨店業界と食品業界のコラボレーション施策として、以下について具体的な活動を開始する。

#### (1) 食品の安全性チェックのための「チェック・デイ」の創設

各百貨店が取引先と一体になって、一斉かつ定期的(例;毎週土曜日午前中)に、食品の安全性および表示の適正化などに係わる確認作業を実施する「チェック・デイ」を設ける。またそのためのチェック・リスト、啓発ポスターを作成する。

#### (2) 表示適正化促進のための「ガイドライン」「表示事例集」の作成

百貨店業界における表示適正化を促進するため、コンプライアンスと消費者視点に立った表示のあり方、接客販売という百貨店の業態特性を生かした販売時点での商品説明等について、業界共通ガイドライン、および表示、商品説明に関する事例集を作成し、販売員の意識・知識レベルの向上を図る。

#### (3) 食品に特化した危機管理に関するマニュアルの作成

両業界が問題意識を共有し、現場の危機意識を高めるため、特に百貨店の食品販売におけるリスク発生防止を主眼とした危機管理マニュアルを作成するとともに、そのマニュアルに基づいた教育を各社の教育プログラムに組み入れ、実効性を高める。

(4) 全国百貨店の食品担当者による情報ネットワークの構築

全国百貨店の食品担当者を結ぶ情報ネットワークを構築し、食品業界からの情報提供、百貨店間の情報交流を促進し、業界あげた安全課題への迅速な対応、問題発生未然防止、リスクの最小化等に対応する。

また、食品の安全に係わるノウハウ交流を促進し、百貨店業界における食品安全衛生レベルの向上を図る。

5. コラボレーション事業推進のためのプロジェクトとリーダー

上記を実行するため、下記のプロジェクトを立ち上げ、直ちに活動を開始することとし、併せて、各プロジェクトの推進世話役として、それぞれプロジェクトリーダーが選任された。

チェック・デイ・創設プロジェクト

(敬称略)

リーダー： (株)三越 執行役員営業本部食品部長 大野 昭一

表示適正化ガイドライン検討プロジェクト

リーダー： (株)高島屋 MD統括本部食料品DV部長 倉本 和政

危機管理マニュアル作成プロジェクト

リーダー： (株)伊勢丹 食品営業部長 星野 幸弘

各プロジェクトの検討内容は、両業界の懇談会参加企業による協議を経て、9月理事会への提案を目途に活動することとする。

以上

# 食品業界と百貨店業界との懇談会出席者

平成 14 年 6 月 25 日・日本百貨店協会 会議室

(順不同・敬称略)

## < 食品業界 >

味の浜藤(株)	代表取締役社長	森口 一
伊藤ハム販売(株)	代表取締役社長	菊池 康太郎
〃	マーチャンダイジング部長	鈴木 誠
(株)榮太樓總本舗	会長	細田 治
(株)虎屋	代表取締役社長	黒川 光博
〃	取締役	乙間 博
〃	お客様相談センター室長	桃井 和彦
森谷健康食品(株)	取締役社長	森谷 龍一
(株)ヨックモック	代表取締役社長	渡邊 太郎
(株)ロック・フィールド	代表取締役社長	岩田 弘三

## < 百貨店業界 >

関東百貨店協会副会長	(株)東武百貨店取締役社長	根津 公一
(株)伊勢丹	食品営業部長	星野 幸弘
〃	店舗運営部営業業務担当長	松浦 諭
〃	品質管理室長	赤間 和彦
(株)小田急百貨店	食品部長	吉武 伸一
(株)京王百貨店	食品部長	立川 隆
(株)西武百貨店	商品部食品部長	仁科 敏和
(株)大丸	本社商品ワーク推進部食品部長	古山 勇起
〃	東京店食品部長	小宅 祥広
(株)高島屋	関東事業部食料品DV部長	倉本 和政
(株)東急百貨店	商品統括部食品関連部部長	村松 弘章
〃	食料品デジタルソリューション統括マネジャー	三ツ木 弘
(株)東武百貨店	取締役食品第二部部長	荒井 亮三
〃	総務部部長	山田 進
(株)阪急百貨店	取締役執行役員	宮崎 賢司
〃	大井食品館店長	有光 国人
(株)プランタン銀座	フーズレストラン事業部次長	亀山 茂

(株)松坂屋 "	取締役本社営業改革推進室長 本社営業本部食品部長	和田 隆二 小久保 雅史
(株)松屋 " "	食品部長 広報担当部長 商品試験センター部長	志村 高義 東 章二 岩淵 豊
(株)三越 "	執行役員営業本部食品部長 営業本部品質環境管理部長	大野 昭一 鈴木 英雄
日本百貨店協会 " "	専務理事 理 事 理 事	樽本 泰知 今井 成价 小豆澤 幸照

以 上